

Ⅱ 委員会活動から Ⅱ

有資格者増強委員会(北海道技術士センター)

【第二次試験（1～20部門）講習会受講者10名筆記合格】

【第二次試験総合技術監理部門講習会受講者9名筆記合格】

【第一次試験対策講習会受講者16名合格】

技術士第二次試験の筆記合格者は11月10日、第一次試験合格者は12月26日にそれぞれ発表されました。第二次試験の最終合格者発表はこれから2月10日に予定されていますが、以下には筆記合格者発表を踏まえて、今年度の講習会成果とこれまでの委員会活動及びH18年度講習会実施方針等についてご報告いたします。

1. 第二次試験対策講習会の成果報告

(1) 1～20部門（総合技術監理部門以外の添削指導）

例年実施している経験問題の添削指導について、今年度は25名の申し込みがありました。一方今年度道内の筆記試験合格者は149名おり、その中で今年度添削指導を受けた方を含め、過年度当委員会主催の講習会受講者での筆記合格者は10名出ております。

次ページの図には講習会を本格的に実施した、平成9年度からこれまでの講習会受講者と受講経験者の合格状況をまとめてみました。平成15年度の技術士制度改正（第二次試験の受験要件として技術士第一次合格者）に伴い受講者は約30名と激減し、合格者も自ずと減り最近では10名前後で推移しております。

平成19年度からは出題形式が変更されることとなっており、これまで以上に難易度は高まると予想されています。そのため現行方式での試験準備はH18年度のみとなりました。H18年度の講習会実施方針については現在委員会で検討中ですが、3月初旬から委員会ホームページにて受講者募集を予定しております、受講者人数が増えれば講習会開催の復活も可能となり、内容もより充実したものとなります。多くの受講者を期待したいところであります。

(2) 総合技術監理部門の講習会

平成13年度から始まった総合技術監理部門は、今年度で5回目を迎えております。この部門での出題傾向は五択式を中心として年々難易度が高くなっていく感じがいたします。その証として次ページの表に全国と道内の合格者状況を示しましたが、筆記合格者数/受験者数の比率はこれまで全国ベースで30%強を維持していたところ、今年度は28.6%、道内では25.4%と過去最低となっております。なお、委員会ではH16年度から講習会を開催しておりますが、この講習会受講者の合格者数は、H16年度で5名、H17年度で9名と増加しており、それなりの成果があったと評価しております。H18年度は1～20部門と併せて講習会の同時開催を現在検討中であり、詳細が決まり次第、左記同様にホームページにて受講者を募集いたします。

2. 第2回（第二次&第一次合同）委員会の議事録

(1)実施月日：12月6日（火）

(2)出席者：

○第二次：近藤、大井、林(秀)、久保、油津、黒沢、星野、赤松、林(克)、斉藤(克)、斧 以上 11名

○第一次：斉藤(礼)、向井、高井、中山、金子、知本、長谷川、片桐、山田以上 9名

(3)議題

①H17年度講習会報告

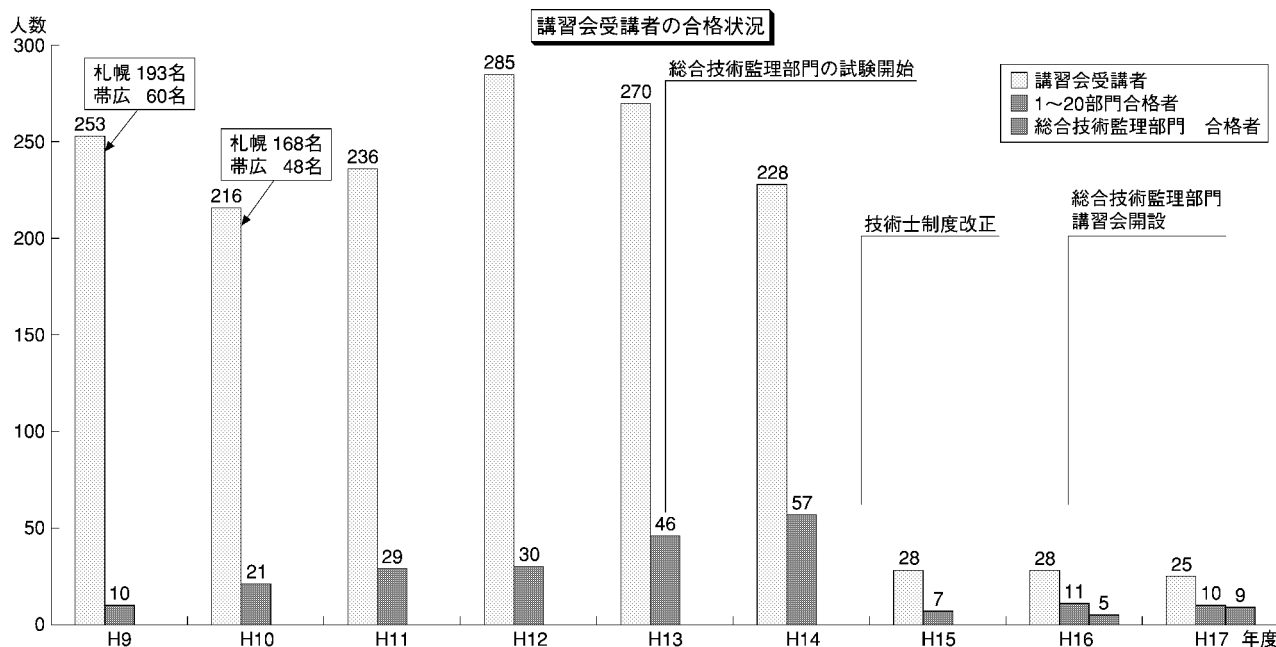
- ・第二次試験添削指導及び総監講習会
- ・第一次試験講習会

②留萌開建講習会報告、第一次試験（酪農学園大学講習会）の報告

③H18年度講習会実施方針

総合技術監理部門の合格者状況

年 度	地 域 ブロック	申込者数 (A)	受験者数(B) 受験率(B/A)	筆記合格者数(C) 筆記合格率(C/B)	口頭合格者数(D) 口頭合格者数(D/C)	全合格率 (D/B)	講習会受講 者合格者数
平成13年度	全 国	9,220 名	7,944 名 86.2%	2,581 名 32.5%	2,267 名 87.8%	28.5%	—
	北海道	538 名	460 名 85.5%	167 名 36.3%	154 名 92.2%	33.5%	
平成14年度	全 国	13,405 名	10,397 名 77.6%	3,886 名 37.4%	3,516 名 90.5%	33.8%	—
	北海道	721 名	575 名 79.8%	195 名 33.9%	171 名 87.7%	29.7%	
平成15年度	全 国	2,165 名	1,699 名 78.5%	896 名 52.7%	783 名 87.4%	46.1%	—
	北海道	112 名	91 名 81.3%	49 名 53.8%	41 名 83.7%	45.1%	
平成16年度	全 国	6,535 名	4,436 名 67.9%	1,560 名 35.2%	1,407 名 90.2%	31.7%	5 名
	北海道	385 名	286 名 74.3%	76 名 26.6%	68 名 89.5%	23.8%	
平成17年度	全 国	5,865 名	4,089 名 69.7%	1,171 名 28.6%	—	28.6%	9 名
	北海道	355 名	283 名 79.7%	72 名 25.4%	—	25.4%	



※ H 18 年度講習会案内は、以下のアドレスにて確認して下さい。(3 月初旬公開予定)

【有資格者増強委員会主催 講習会案内アドレス】

<http://www.ipej-hokkaido.jp/zoukyou/seminar/>

(文責：黒沢 弘行)

3. 第一次試験対策講習会の成果報告

技術士第一次試験講習会は、今年で 4 回目となります。

日本技術士会発表による全国の一次試験受験者数の推移をみると、平成 14 年度が約 2 万 4 千人(対受験者合格率；15.0%)、平成 15 年度が約 5 万 7 千人(同；50.7%)、平成 16 年度が 4 万 4 千人(同；52.3%)、平成 17 年度が 3 万 7 千人(同；27.5%)となっています。

平成 15 年度の技術士制度改革にともない、受験者数は大きく増加しましたが、近年は減少傾向に転じています。平成 15 年度及び平成 16 年度の対受験者合格率が 50%を超過し、合格者が増加してきていることが要因の一つと考えられます。

これまでの当講習会の合格者数をみると、平成 14 年度；2 名(合格者)/203 名(受講者)(合格率 1%)、平成 15 年度；68 名/243 名(同、28.0%)、平成 16 年度；87 名/211 名(同、41.2%)、平成 17 年度；16 名/

76 名(同、21.1%)と、全国平均をやや下回る結果となっています。

本講習会では、基礎科目、適性科目、専門科目(建設、農業、上下水道、応用理学、環境)のすべての科目について、オリジナル演習問題を作成し、実践に近い形での講習会を実施しております。しかし本試験の合格率をみてわかるように、年度により、試験問題の難易度の変動が大きく、これに対応した講習会がいかに難しいかを痛感しております。

最近では、インターネットや書籍などから、技術士に関する多くの情報が容易に入手できるようになってきており、講習会の受講者も減少傾向にあります。

こうした状況のなか、インターネット等では得られない、付加価値のある講習会を目指すよう、より一層の議論が必要と考えています。皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

(文責：中山 亮)